

# 町民の声



建設総合組合  
金山支部長  
渡部 俊治さん  
(七日町・67才)

## 集いつ「我が里」ひなぐ「技と心」 胸踊り良に至る

建設総合組合金山支部が主催となり、我が里で、東北ではじめて大工のうす削りを競う「金山住宅推進ミニ削ろう会」が7月3日体育センターで開催された。

大会に先立ち、前日に交流会がシェーネスハイム金山で開催され、金山職人の技と金山の里をテーマに作った歌「我が里」「技と心」の2曲が披露された。県内外から大工職、学生、鉦マニア等、県内外から多数参加し、金山の「お・も・て・な・し」を感じていただけたものと思う。

大会は、「東北ど真ん中サミット in 金山」と同時開催で行われ、飛鳥建築最後の宮大工「法隆寺棟梁西岡常一」、唯一の内弟子で、現在、鶴公社を立ち上げ、後人指導に尽力する現代の名工小川三天棟梁の基調講演をいただいた。また、早朝には、小雨降る中、「ドン突き」で雨払いをした。打刃物の里与

板からは伝統工法ハツリ実演、打刃物販売、各団体より物販ブースがズラリと並んだ会場周辺、否が応でも会場は盛り上がる。そんな中千分の1ミリを競う薄削り大会が始まった。削られた杉材は鏡面の仕上がりで魅せ周囲の競技者まで映り込む。削られた鉦屑は絹の薄さを凌駕する。作家の故永六輔氏はそれを削り華と称し絶賛した。会場内には杉の香が充満し薄さの極限に挑戦する参加者の汗と交錯する、伝統工法における拘りの本質が垣間見られた。うす削り体験コーナーでは、子供から女性まで競技の楽しさ、気持ちよさを笑顔で体感し、真剣さと笑顔が混じり、和やかな雰囲気の中で競技は進行した。私達は今日の削ろう会を通して「技術の伝承」「新たな賑い」「元気の創生」を、景観づくり百年運動の強化につなげていく事を胸に刻んだ。結びに、成功裡に終了した大会を陰で支えたスタッフ、町職員、商工会職員、金山高校生徒、関係各位の皆様には、「本当ありがとう」を送りたい。



うすさを競う

## 議会豆知識 No.5

### ●議決権について(その3)

引き続き、議決権について掲載します。

1. 地方税の賦課徴収及び分担金、使用料、手数料などの徴収
  2. 条例で定める契約の締結  
政令基準（予定価格5千万円以上）
  3. 財産の交換、出資、支払手段としての使用及び適正な対価のなくしての譲渡・貸付
  4. 条例で定める財産の取得  
又は処分 政令基準（7百万円以上で土地の場合は5千平方メートル以上）
  5. 条例で定める重要な公の施設の長期的かつ独占的使用
  6. 損害賠償額の決定
- よくあるケースは、以上ですが、不動産の信託、権利の放棄、負担付きの寄附・贈与などのほかにも定められています。また、人事案件の同意や補正予算の専決処分、契約についても議決を必要とします。

# 9月議会定例会は9月7日(水)～14日(水)の予定です 町民の皆様への傍聴をお待ちしています

## 編集後記

参議院議員選挙（7/10投票）が終わった。県の結果と全国の結果の違いは何だろうと思いつながらテレビを見ていた。今後の政治の動きに注視していく必要があるだろう。

全国町村議会議長会広報研修（7/12～13）が東京でおこなわれ、議会広報常任委員と議長が参加した。講師が「議会だよりらしくない議会だよりを作ろう」という言葉が印象的であった。これからも読みやすく議会活動が見える広報作成に努力していきたい。是非、皆様のご意見も寄せていただきたいと思います。

(文責 沼澤 道也)

### 発行責任者

● 議会議長 柴田 清正

### 議会広報常任委員会

● 委員長 沼澤 道也  
● 副委員長 中村 忠行  
● 委員 高橋 芳夫  
● 委員 高橋 浩樹  
● 委員 早坂 憲明

\* \* \* \* \*

